

コースコード：RH-DO180

税抜価格：165,000円

日数：3日間

---

## 前提条件

Linuxのターミナルを使用し、OSコマンドを実行できるスキル、およびシェルスクリプトの知識 Webアプリケーションのアーキテクチャや、対応するテクノロジーに関する経験 Red Hat 認定システム管理者 (RHCSA®) の取得を推奨しますが、必須ではありません

## 受講対象者

ソフトウェア・アプリケーションのコンテナ化を検討している開発者

コンテナ化技術やコンテナのオーケストレーションについて、あまり知識のない管理者

ソフトウェア・アーキテクチャ内でコンテナ技術の使用を検討しているアーキテクト

Kubernetes および Red Hat OpenShift  
の使用を検討しているサイト信頼性エンジニア

## コース概要

「Red Hat OpenShift: Containers & Kubernetes(DO180)」は、コンテナ、Kubernetes、および Red Hat OpenShift® Container Platform に関する実践形式の授業で、コンテナ管理の基本的な知識を習得できます。このスキルは、開発者、管理者、サイト信頼性エンジニアなど、複数の職種に必要です。

このコースは、Red Hat OpenShift Container Platform 4.1 および Red Hat Enterprise Linux® 7.6 に基づいています。

## 目的

コンテナおよび Red Hat OpenShift アーキテクチャを理解する

コンテナ化されたサービスを作成する

コンテナおよびコンテナイメージを管理する



カスタム・コンテナイメージを作成する

コンテナ化アプリケーションを Red Hat OpenShift でデプロイする

マルチコンテナ・アプリケーションをデプロイする

## アウトライン

コンテナ技術の概要

Red Hat OpenShift Container Platform によりオーケストレーションされたコンテナ内で、ソフトウェアが実行される際の仕組みを説明します。

コンテナ化されたサービスの作成

コンテナ技術を使用し、サーバーのプロビジョニングを行います。

コンテナの管理

事前ビルド済みのコンテナイメージを操作して、コンテナ化されたサービスを作成、管理します。

コンテナイメージの管理

作成から削除までのコンテナイメージのライフサイクルを管理します。

カスタム・コンテナイメージの作成

Docker ファイルの設計とコーディングを行い、カスタム・コンテナイメージを構築します。

コンテナ化されたアプリケーションを Red Hat OpenShift へデプロイ

単一コンテナのアプリケーションで Red Hat OpenShift Container Platform を使用します。

マルチコンテナ・アプリケーションのデプロイ

複数のコンテナイメージを使用してコンテナ化されたアプリケーションをセットアップします。

コンテナ化アプリケーションのトラブルシューティング

Red Hat OpenShift

にデプロイされたコンテナ化アプリケーションを調整します。

カリキュラムの全体的な復習

ソフトウェア・アプリケーションをコンテナ化し、Podman でテストし、Red Hat OpenShift クラスタにデプロイする方法を実演します。